

ARI IMA IIBON!



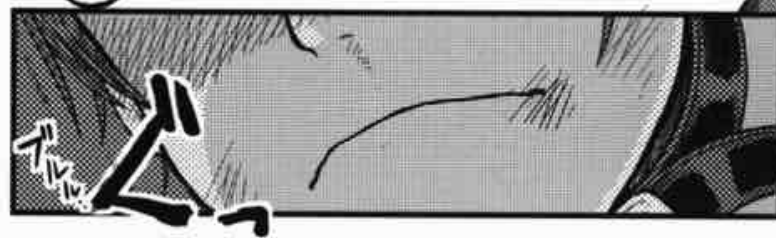
成人向

黒いキャリバー「風よ忘えて」



まだ賤けが
足りぬようだな

数日振りの食事で
忘れたのか？
物を食らう時は
手は使わぬと。



貴方は風の巫女。
果たさねばならない
使命がある…

こんな所で挫けちゃ
いけない…

負けないで
タリム…

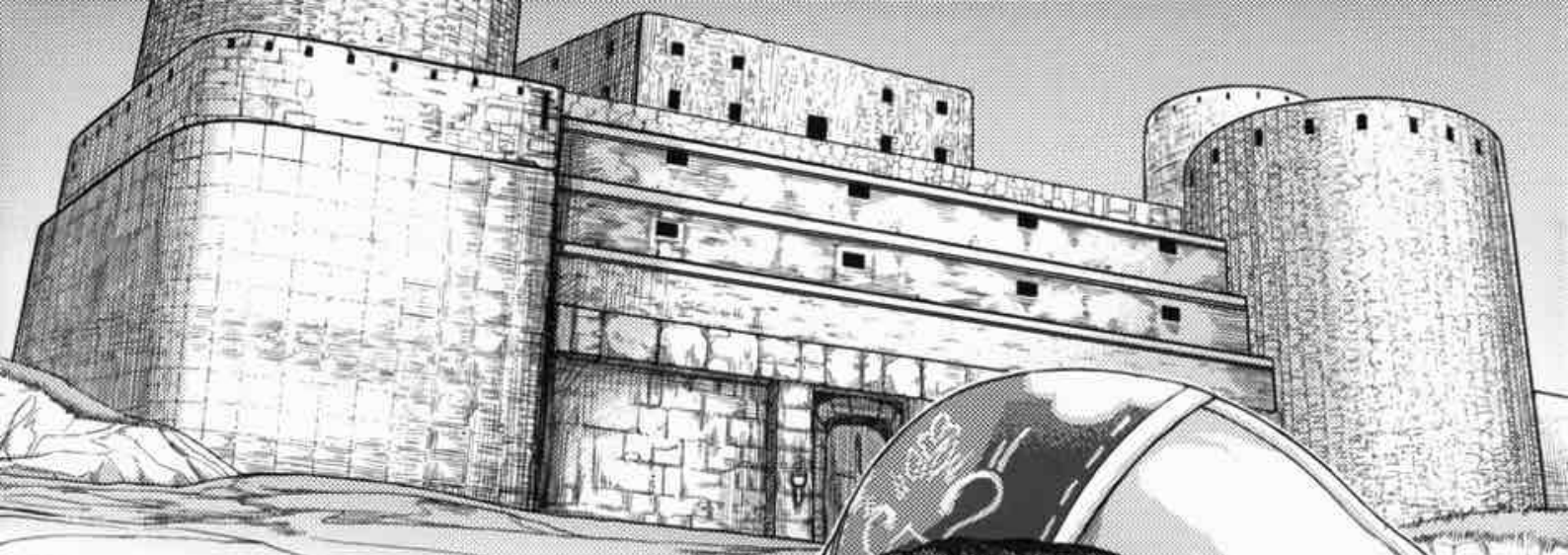


「風よ、私を導いて…」



「風よ、応えて…!」

Presented By Majirou



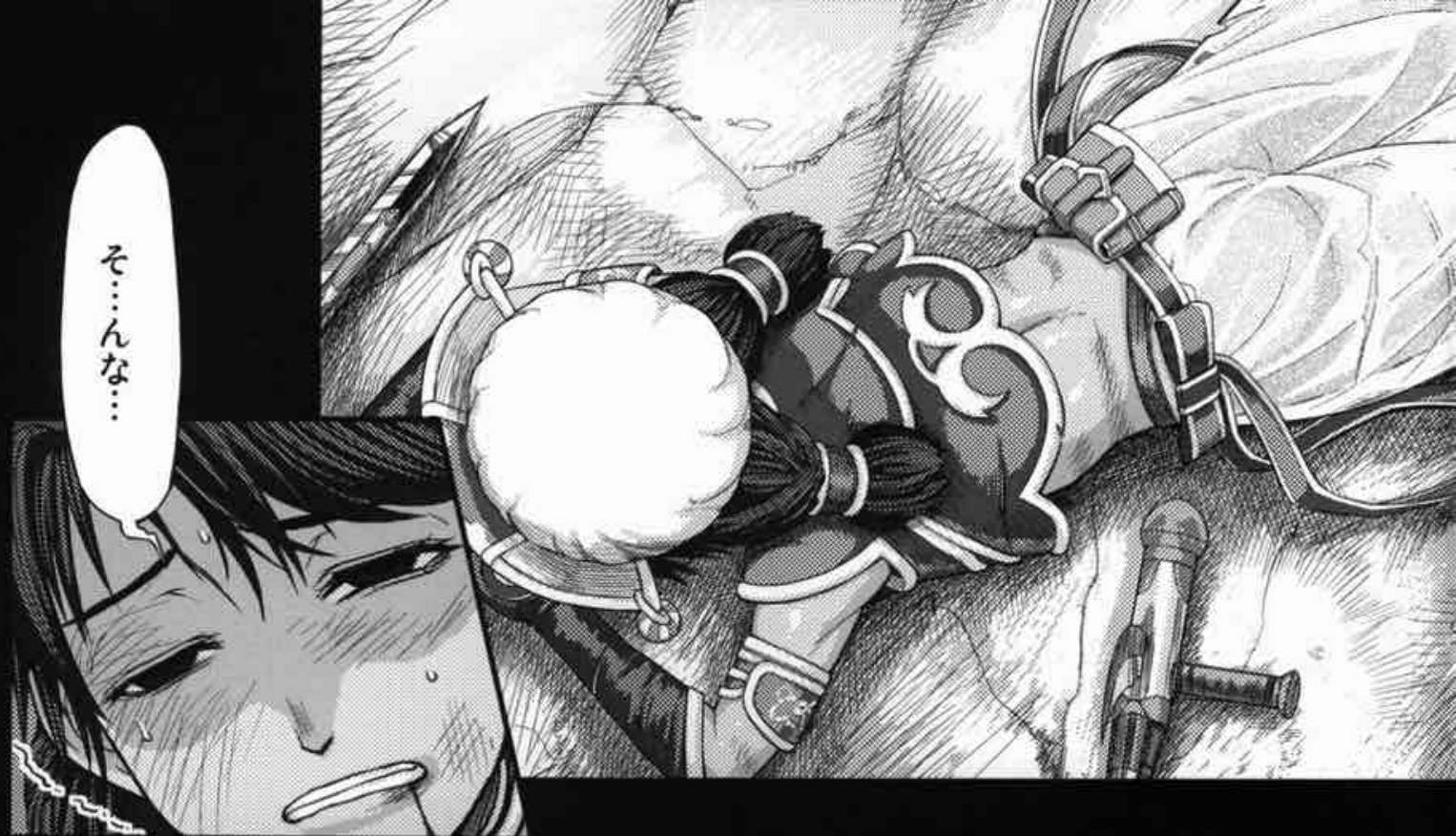
近い…この中で
邪の気が渦巻いている…

一つ…二つ…。
数えたくないほど
巨大…。ううん



考えちゃだめ
行くよ
タリム





そ...んな...



ようこそ
我が砦へ

タリム君



私の名を...

なぜ...

ほま







領主様
こりやまた
上物の
豚ですね
フヒヒヒヒ



喰え



まがまがしい邪気は
この砦の主と名乗る
この男からは
強く感じられなかった。
だけれど私は
この男に負けてしまった。



それでよし



私は強い女性が
だー好きでね

そんな女性を
招くために
この砦を
作ったのだよ



私は領主だが
そんなもの
まやかし：
ここは
もっと崇高な
意を持ち
建設させた





私はこの岩へ
導かれた…

ソウルエッジの
邪気を感じ



あの男に負けて…



あれから何十日経ったのだろう…





私がいけなかつたの

巨大な憎悪が蠢いているのは
見えていたのに
考えもしないで飛び込んだから…



私は汚された…



それからずっと毎日…

欲に狩られた者達の
玩具にされている



孤独…痛いよ…
邪気の渦に
いるからなの？
風の音が
ずっと届かない…

私を導いてくれない。



グー発目っ

はあ
あう



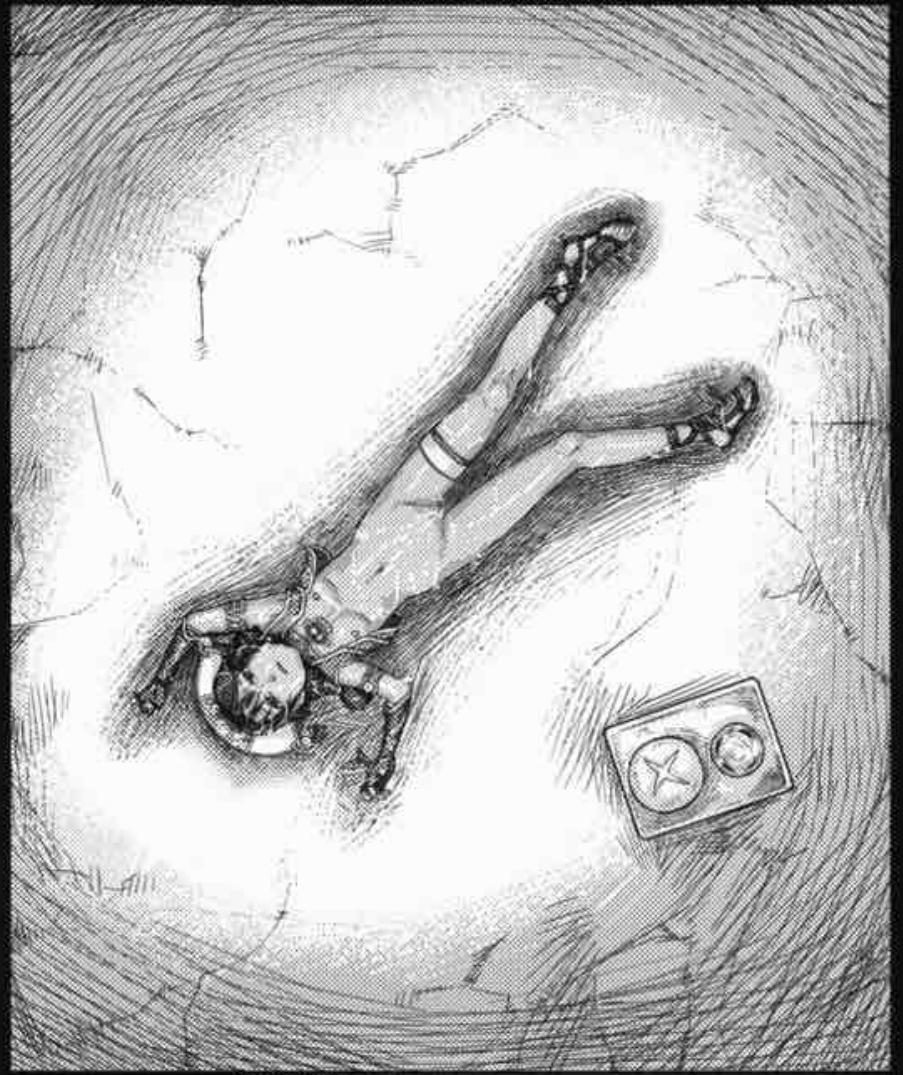
ぬ
あ
あ



ん
あ
あ



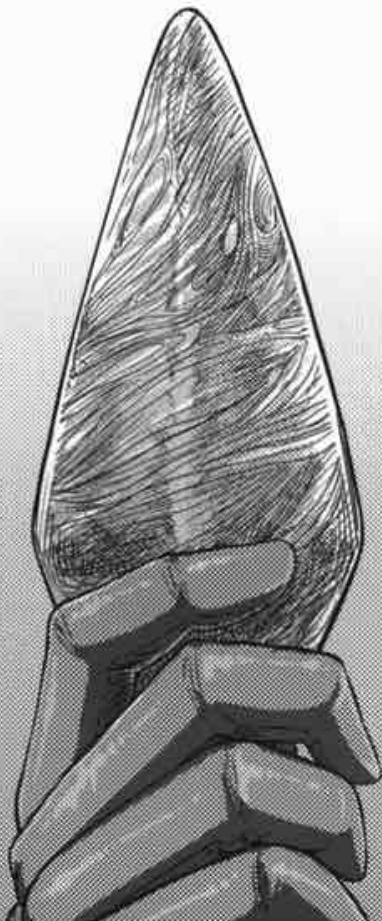
ん
あ
あ



それとも生きて
私から奪うか？



このまま何も
食べないで死ぬのか…



見るが
これがお
前のた
ほしが
宝だ

ソウルエッジの欠片…
まだこの砦には
沢山収められている



これを目の前にして
朽ちるつもりか？
ククク

目と鼻の先にあると
いうのに届かぬのだ



悔しいか？泣けよ

お前は餌に釣られて
自ら檻に飛び込ん
だ
卑しい豚だ

人の宝を奪おうとする
輩には
羨が必要だろうか？



調教してやるよタリム
ここからはもう出られぬ
この欠片がいられぬなら
そのまま死ぬまで犯される

だが生きておれば
私を殺すチャンスという
やつがお前に転がり
こんで来る日もあろう
同じ領土で暮らしておれば
好機はいくらでもある
お前がここにいる限りな

憎んで憎んで
殺しに来い

そのためのくされ飯だよ
これは





食らうなら
これを着るんだ
私に服従する証と
してな



パンはそれからだ



私は
生きる……!



……
やるしかない……!







乳首が感じる
のかタリム

あん

ちが…

あ…

する

似合っている
じゃないか

お前は乳首が
敏感だからって
領主様から
頂いたんだろ？



かわいいよ♡

タリム♡

ドキ
ドキ

ズル
ズル
ズル



ズル



絶対言えない!!!

こんなに酷いことをされて
気持ちいいなんて



感じてるなんて：
気持ちいいなんて言えない！

ほぁ ほぁ

あ、
ほっ



精子のにおいが好き：
沢山身体に浴びせてほしい
力強く身動き取れないくらい
強引に抱かれて
おまんこさされたいの！



キキ
キキ



ぬるぬるべたべたになるまで
ザーメンをぶちまけられて
くらぐらしちやう

あ

あ

全ての柵から解き放たれて
私はただの男達の精子を
吐き捨てるだけの
穴になるの

ザッ
ザッ
ザッ

ビュルル
ビュルル
ビュルル

ああ、タリム。
貴方はなんていやらしい子なの…？

好きでもない男達に
毎日犯されて喜び喘いでる
変態が巫女ですって!?!

ウフウフフ… ううう…



ああ、声が漏れちゃう
理性の蓋を完全に退けて
しまったら完全に堕ちて
しまうかもしれない……

オチニ
はあ♡

私はもうこの快楽から逃れられない
ような気がする……。
今までの私を作り物みたいいに
抑えられない下品な事しか
考えつかない

キ
ユウウウ

グ
ニイイ

ぐ
あ♡

おちんちんが好きなんじゃない！
逃れるために食べ物をもらうの。

何時でも逃げれる体力をつけるため
仕方なく行為を受け入れているだけ。

ザーメンが好きだからじゃない！

受け入れてはだめよ
タリム！

好機は必ず来る……！



体調は良い…大丈夫…



今なら行ける…





自分を信じて……!!

!!



ワッ
からかした

あ
ああ

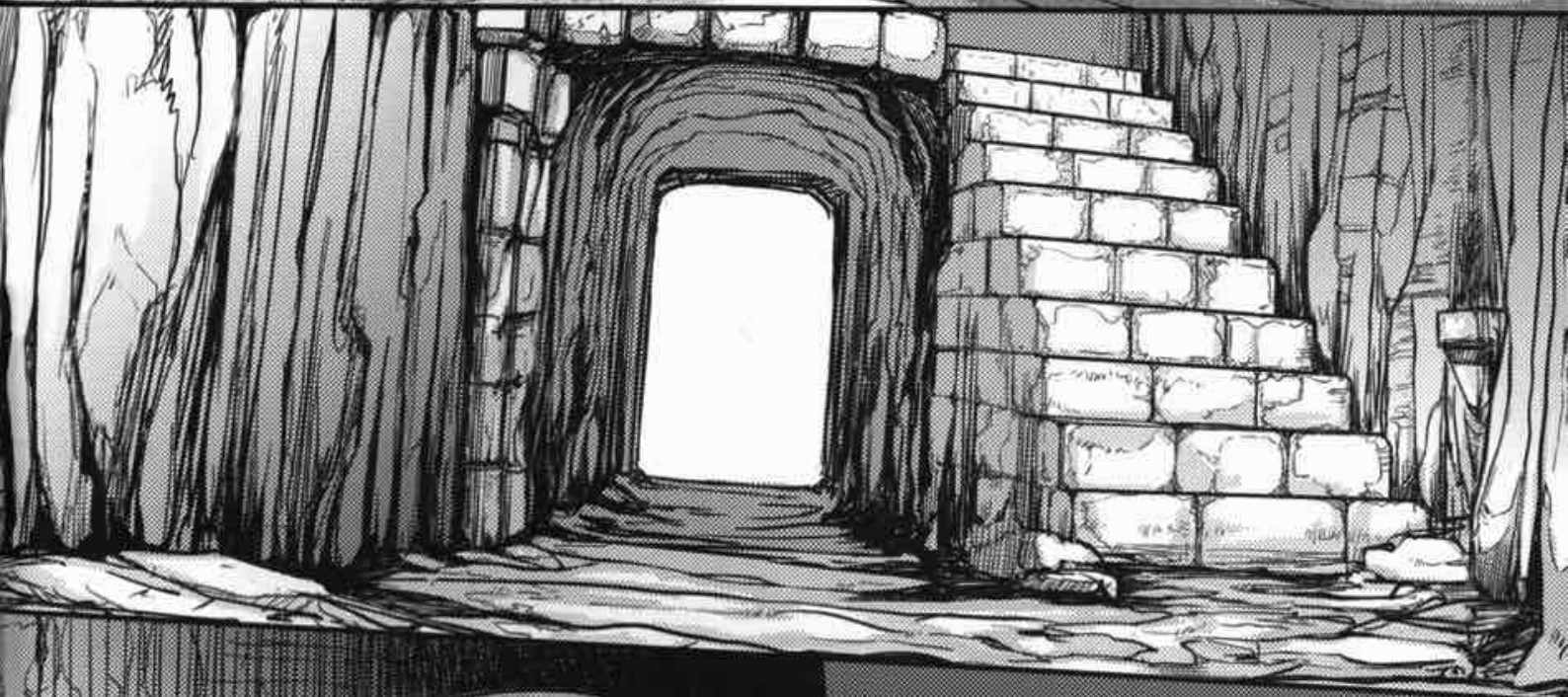


タリム
逃げてたぞよ

タリム



道は…大丈夫…
ちゃんと覚えてる



光…!



出れた...



はあ



はあ

やったのね
タリム

はあ



はあ





風が聞こえない……!!



岩の中では邪気が強くて
揺ぎ消されていたから
たまに声が入るけれど…
かすかに聞けたけど…
それもだんだん弱くなっ
消えてしまった。

怖くなって 分からなくなって
おかしくなりそうで…
外に出れば風の音が
聞こえると信じた…

でも聞こえないのは
邪気のせいじゃない…





何をしている
逃げぬのか？

私が汚れてしまったから……
そうなのね……




や


へへ
お家に帰ろう
ねえ

離してえ！

やがて！




失望したね がっかりだ
お前はもつと嘔み付いて
くると思ってたのだがね




風が声を運んでくれた…
辛いことばかり
だったけれど
一人じゃなかった…

何故こんなに
孤独なの…



ソウルエツジ…
ここには完全体は無い
だがこの破片も
その一部



これがほしくて
ずっと耐えてきた…
そうだろ？

お前に一つくれてやる

ふむ



カッ





ふう
く、

使う者の望むものが
手に入る力…



これは使う者の
欲するものを
促進させる力を持つ



お前の望みは
なんなのだあ？

タリムウ





はあ

あ

ん

!!

ズン

ズン

ト

ン

アハハハ

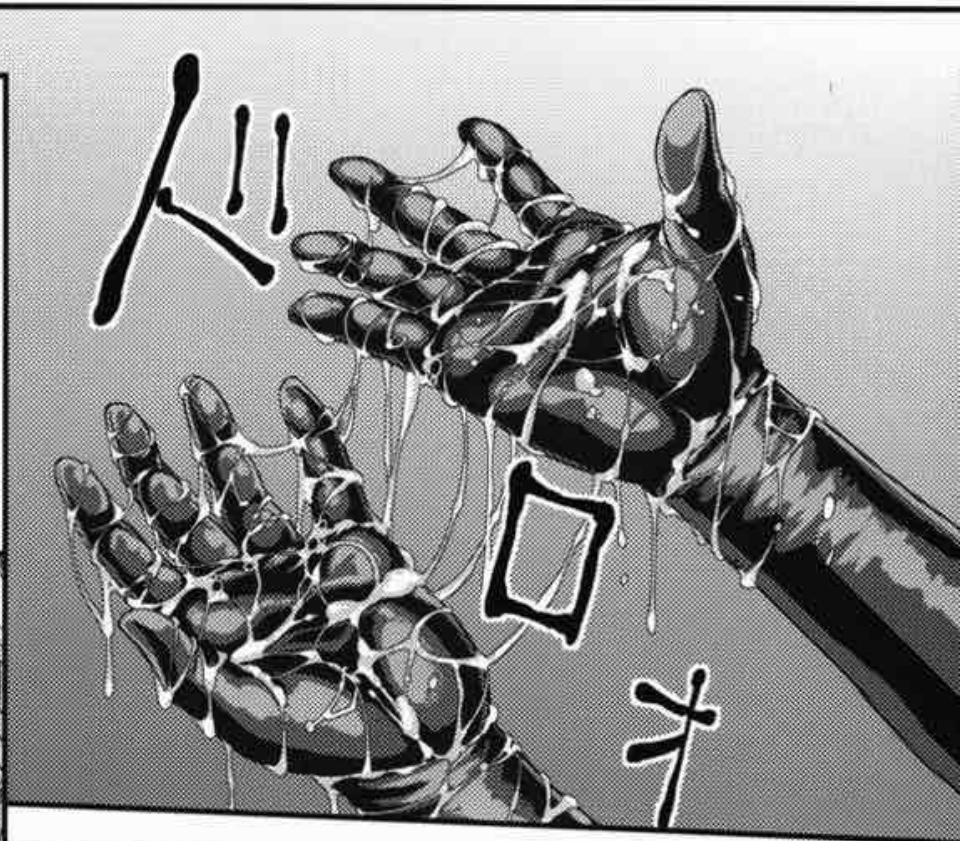
ン





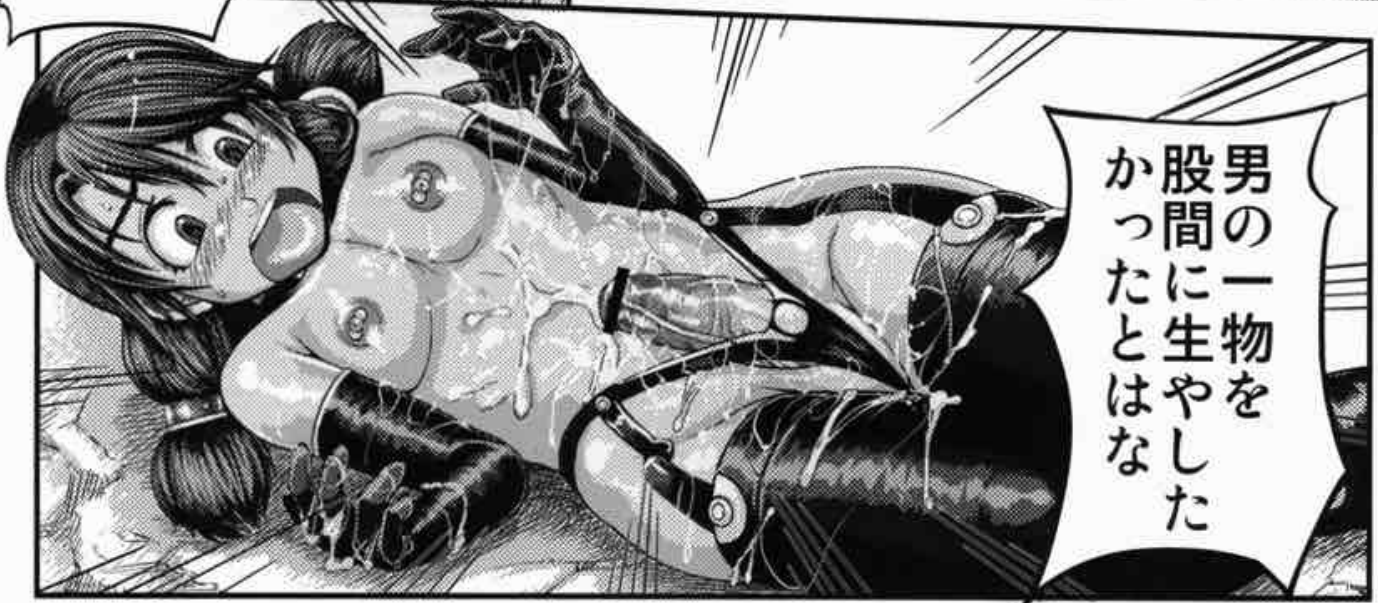
お前の望みは
それか!

は
は
は
は
は
は



心

キ



男の一物を
股間に生やした
かったとはな



ち 違う!
オチンチンが
ほしいとは思ったけど
自分にだなんて



安心したまえ
初めは皆そう言う
ものなんだ

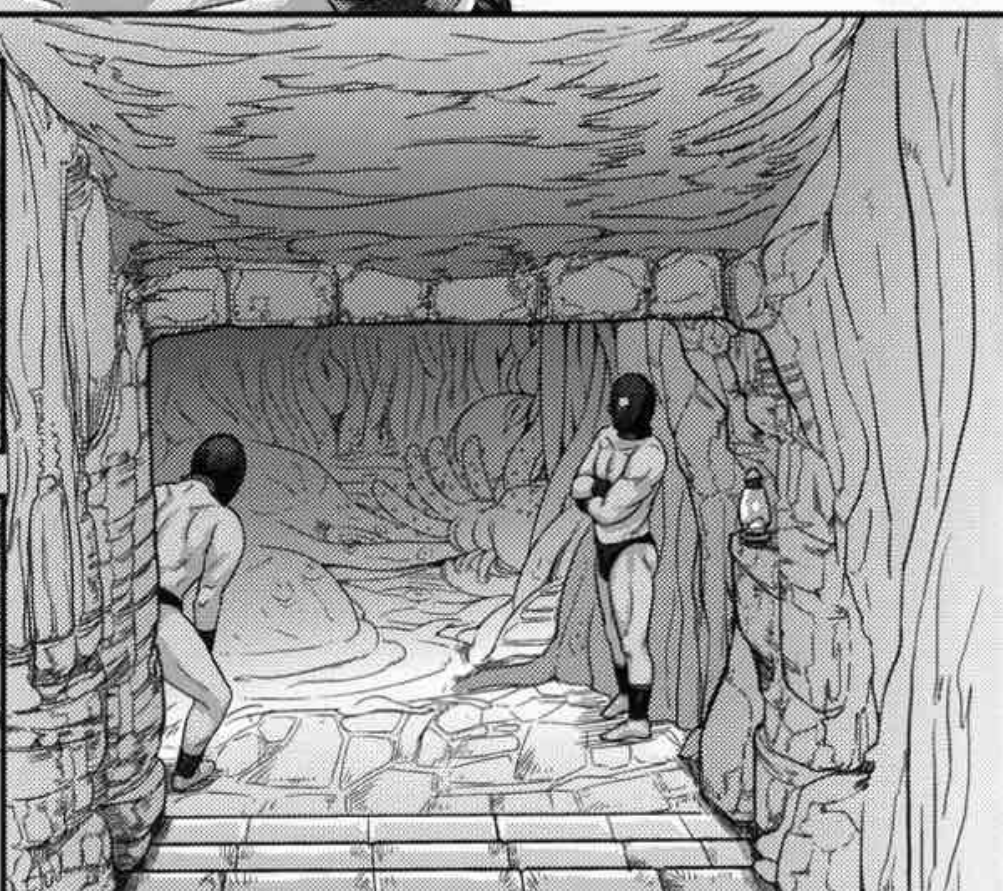
流石だなタリム
ソウルエッジと
融合して尚
自我を保てるとは

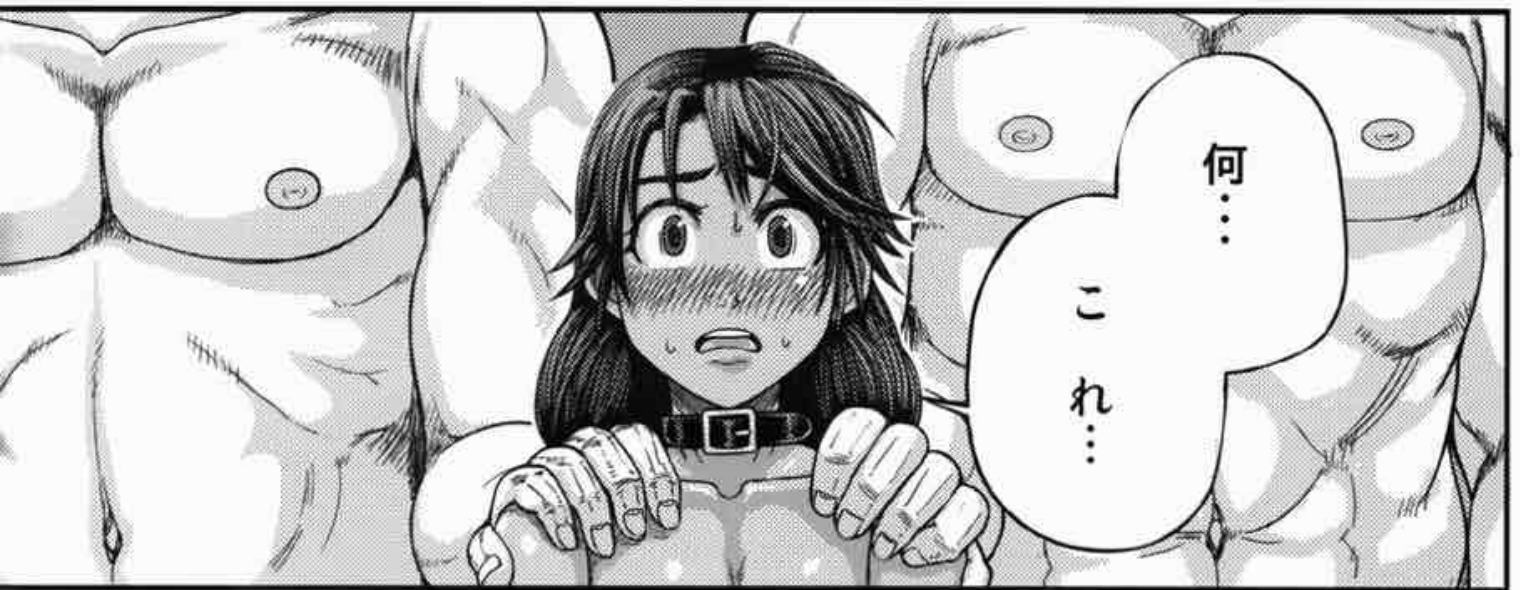
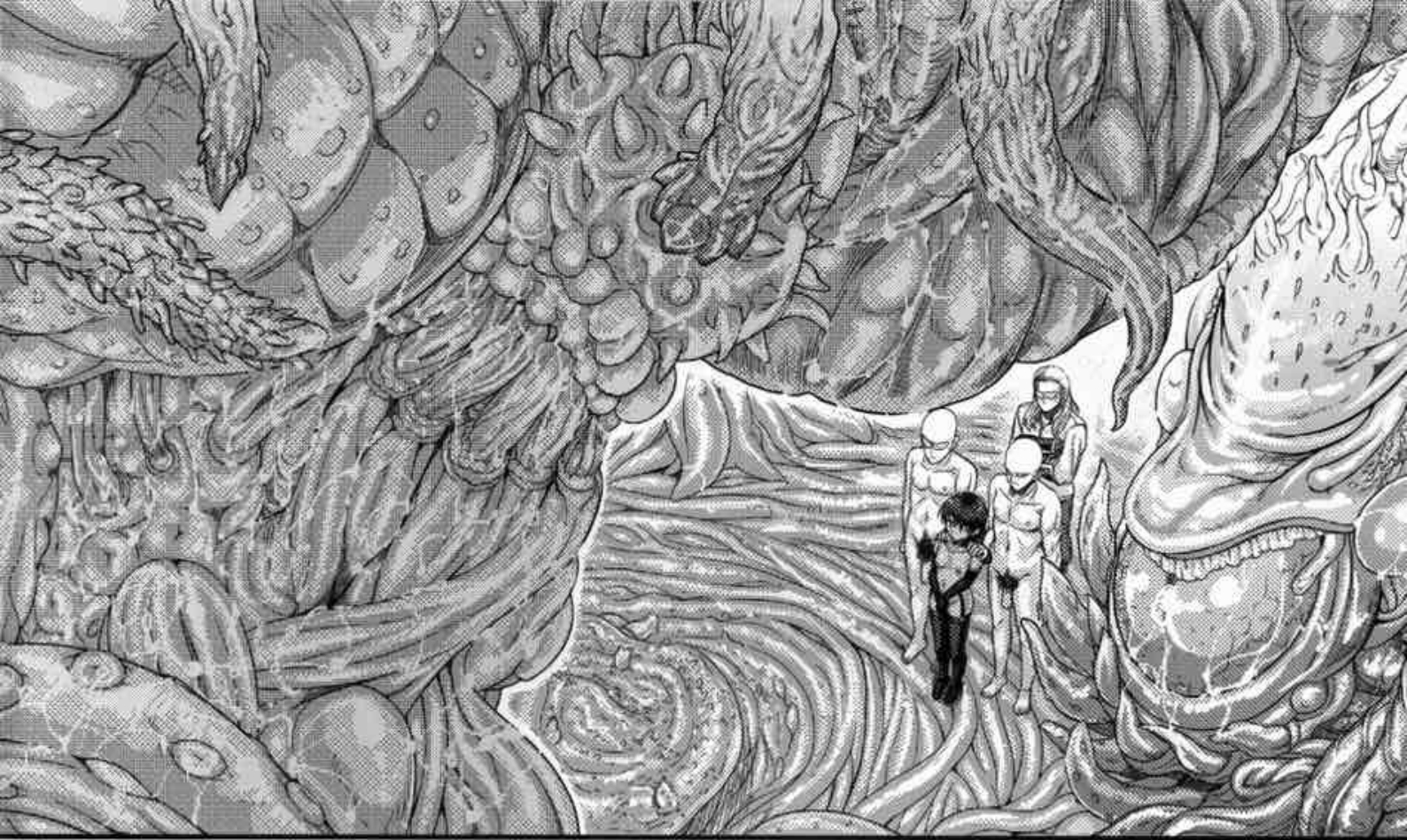
な...?

みんな

はあ

はあ







そこを見ろ
お前が毎日
飲んでいたミルクは
その女から搾乳した
ものだよタリム

あーっ♡



お前らと居ると
私も乾く

尻をだせ
相手してやろう



ああ ご主人様
来てくださるのを
今か今かと心待ちに
してましたわ

あはあ♡



分かっている



あん 私も!!

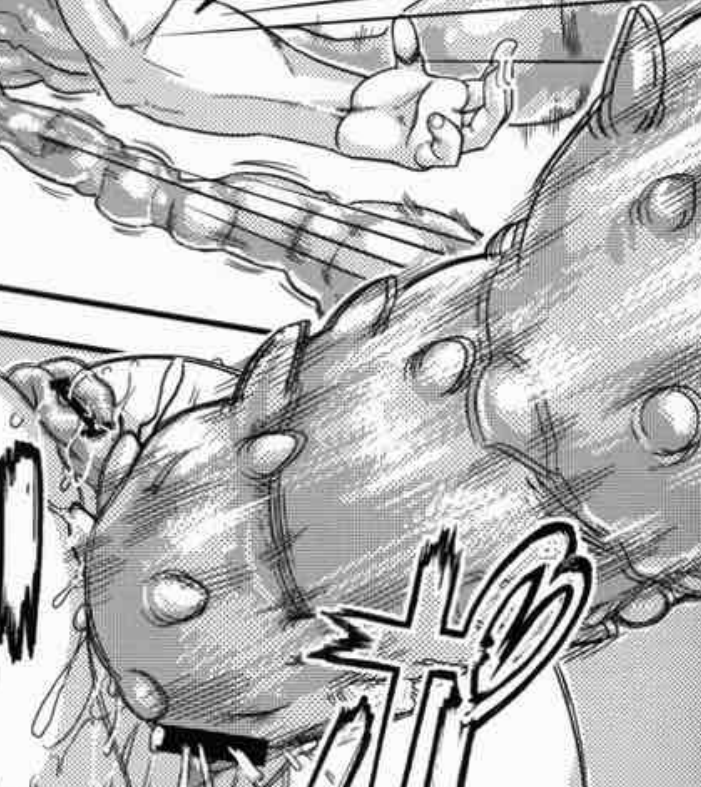
ご主人様あん



全員まとめて
イカせてやろう



んはあ
ヒク



ズ

おはしゃい

ゴロン

たん

あはん

知ってる！
この人達は！

かふん
きやふん

クッ

クッ

ミュ

クッ

クッ

ミュ

クッ

ミュ

クッ
クッ
クッ

クッ

クッ

はー

はー





でなければ
我が身体は浄化され
この世から消え去って
おっただろう



タリム
お前は純潔を
捨てる必要があった

邪の波動の影響で
狂ったわけでもなく
純粹な欠片と融合したお前は
自身となったのだ
塊となったのだ



さあ 欲に堕ちた
元風の巫女よ

ミイラ取りが
ミイラになったな
くくっ



ほっ
ブル
ブル



我が内で己を開放するが良い



フッフ さあ
ムキムキ
しましよう
ねえ

やめて
うやあ
いい
いい



ほおら剥けた
楽になったでしょ？

こんなにギンギン
なんですもの
スケベなこと
でいっぱいなん
でしょ？

あうっ
はっ
はっ
ひっ

あ
か
あ

あ
は
あ

これが射精…
オチンチンの力…

す
す
ご
い…

ん

ケツマンコから
愛液が止まらない♡
そのかわいいおちんぼ
この淫らな肉穴に
突っ込んでみないか？

いやらしい邪気に
満ちているな
しかもまだ生まれたてで…
お前のその包茎ちんぽを
どっちの乳まんこで
解き放ってやろうか…

ソウルエッジの欠片が
お互いを呼び合うのだ。
欠片が身体の
一部となった今
一つになろうと共鳴する

生身の身体では味わえない
オーガズムをわれ等となら
味わえるぞ

皆 沢山私の
おっぱい吸って
大きく育つよ

噴き出るう
噴き出るわあ
ミルクはこんな
あるのお

ほっほっ

ほっほっ

あ あ

ぬちゃ

しちや

しちや

ほあ…

ガクガク

ミュー

ミュー

グシュー



お前は私より
遥かに強い
だが何故負けたか
分かるか？



この勝負 私の勝ちだったな



見誤ったんだよ
私の姿を



さあ 殺したければ
殺せ

私はここに
いるぞ



あとがき(´∞`)

どうも一まじろ一です。黒いキャリバー
いかがでしたでしょうか？
思っていた以上に時間がかかってしまいまし
たがキャリバー愛で乗り切れましたww
発売からかなり立ちますが4の熱が消えません！
不満は色々あるのですがゲーム性はやはりsc!
次回作を期待しつつ鍛える日々でございますw

今回はタリムがかわいくて使えないのに
一生懸命使ってます(´∞`;))
多喜さんとタリム!今はこの2キャラを
ガシガシと鍛えてますよw

今回初黒シリーズお披露目となりました。
白はソフトで楽しいH。
黒はハードで凌辱的なH。というイメージです。
今回のタリム本ですがもう少し先まで描きたい!
そんな衝動がとつともあるのでなにか別の形態で
描く日が来るかもしれません!

うちはジャンルがコロコロ変わって
〇〇専として定着しずらく、固定しずらいと
思うので、いつも内のサークルを追ってくださる
方には本当に感謝しています。
これを機に気にして下さる方が増えてくれると
うれしいなw
いつまで続けられるか分かりませんが

この世にスケベ心がある限り私らは屈しません!

「ら」とは私、そしてこの本を手にとって
くださっているそう、貴方のことです!ガンバロ!

そんな徹夜から朝方のテンションです が…w
これからも
SCシリーズと私、まじろ一を
よろしく願いますww
キャリバー人口増えろ一(><;ww

タリム
その身がどんなに汚されようとも
風の声のを忘れないで……

ARUMAJIBON! 黒いキャリバー

「ん、応えて」

2010, 8/15

まるアルマジロー

まじろ一

シン出版様

18未満の方のご購読はご遠慮ください!

読まれないと

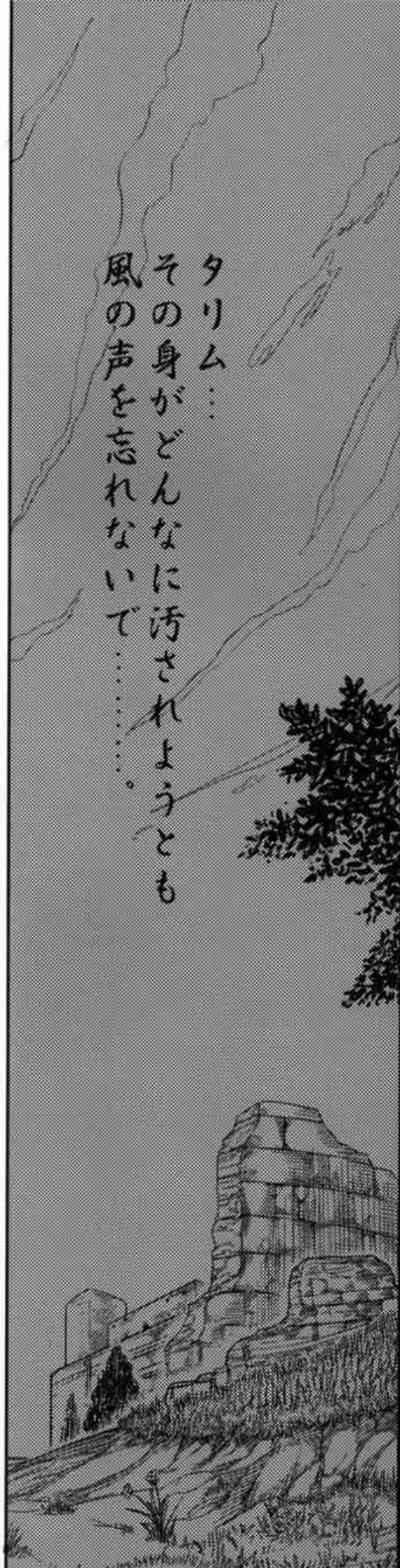
されてしまいますのです(´∞`)

03194

HP(検索は「まるまるアルマジロー」で!)

まるまるアルマジローの告知板

<http://rinrin.saiin.net/arumajiro/index.htm>





ARUMAJIBON!

黒いキャリバー

FOR ADULT ONLY

まるまるアイルマジロー